

お知らせ

資料提供先 鳥取県政記者会
鳥取市政記者クラブ

千代川稲常箇所の築堤工事が完了し、 流下能力が大幅に向上しました!!

～千代川・八東川合流地点より下流の河川改修はほぼ完了～

洪水に対する安全性の向上のため、平成19年より事業を実施していましたが、河原町稲常箇所における堤防工事が平成26年6月末をもって完成しました。

今回の工事により、稲常箇所の流下能力は**約2.3倍**も向上し、整備計画流量である、戦後最大規模の洪水が発生しても安全に流すことが可能となりました。

～稲常堤防の完成による効果～

・千代川・八東川合流部より下流においては、千代川における戦後最大規模の昭和54年10月クラスの洪水を安全に流すことが可能になりました。

・稲常箇所における、想定浸水被害が解消されました。

(工事実施前26戸⇒工事実施後**0戸**)

◆今後の河川整備について◆

・今後は、洪水に対する安全性が依然として低い、河原町佐貫箇所・八日市箇所の河川整備を進めて参ります。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

TEL 0857-22-8435 (代表)

副所長(河川) かわもと川本 ようじろう洋次郎

【工事担当】 工務第一課長 いわた岩田 まなぶ学

※本資料は、鳥取河川国道事務所ホームページの「記者発表」のページでも公開しています。

鳥取河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/>

◆河原町稻常地先での河川改修工事が完了しました◆

洪水に対する安全度が向上し、千代川・八東川合流部より下流地点においては戦後最大規模の洪水(昭和54年10月洪水)でも安全に流すことが可能になりました！！

千代川の過去の洪水被害



昭和54年10月洪水
河原町国英付近



平成10年10月洪水
溢水した国道53号(用瀬町)



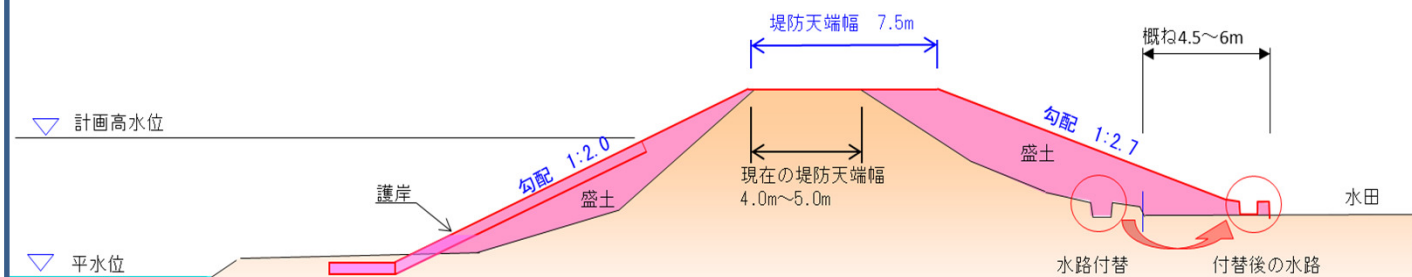
平成23年9月3日洪水
林業試験場前(3日夕方)

近年の千代川の主な洪水

| | |
|---|-------|
| 昭和54年10月洪水(戦後最大) 行徳地点 4,300m ³ /s | 台風20号 |
| 平成10年10月洪水 行徳地点 3,600m ³ /s | 台風10号 |
| 平成16年09月洪水 行徳地点 3,200m ³ /s | 台風21号 |
| 平成23年09月03日洪水 行徳地点 2,100m ³ /s | 台風12号 |



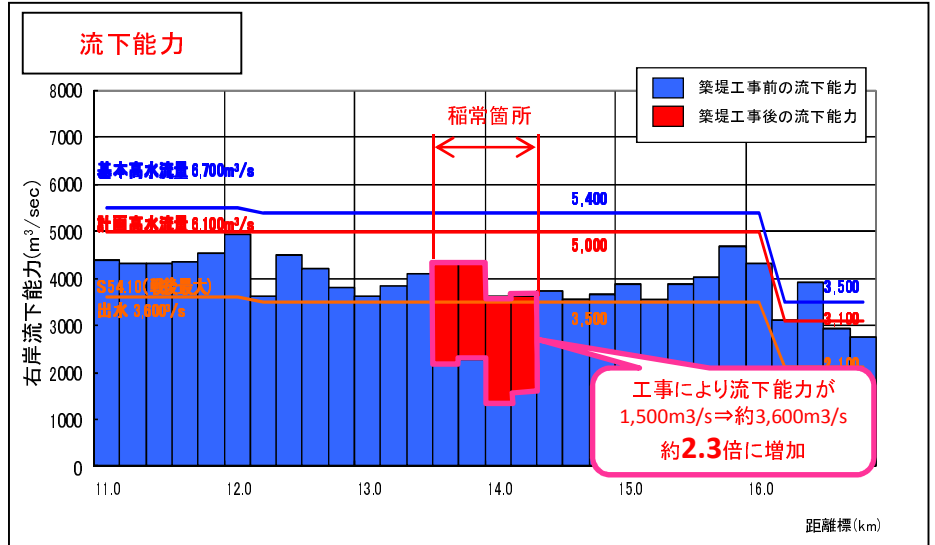
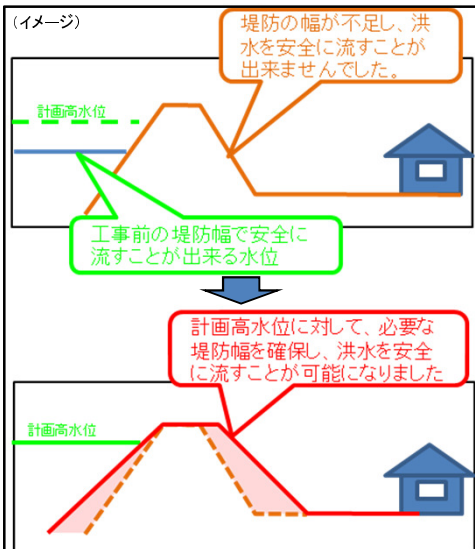
稲常堤防整備イメージ図



稲常箇所築堤工事の概要

稲常箇所は、想定している洪水に対して堤防の幅が不足していました。そのため、洪水を安全に流すことを目標に平成19年から築堤工事に着手し、平成26年6月にすべての作業が完了しました。

築堤工事によって、流下能力が大きく向上し、想定している洪水を安全に流すことが可能となりました。



～稲常箇所の工事実施前後の状況～



長期にわたる工事となり、地元の方々を始め、周辺地域にお住まいの方々には大変ご迷惑をお掛けしましたが、皆様のご理解とご協力により無事に完成することが出来ました。